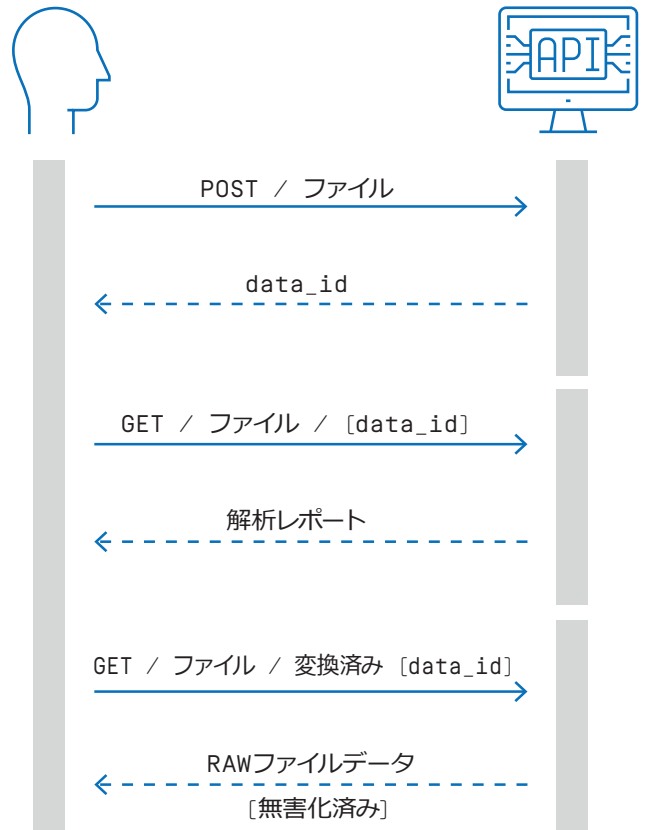


OPSWAT.

MetaDefender® API

高度な脅威防止のための開発プラットフォーム

MetaDefender APIは、お客様のITソリューションとアプリケーションに、高度なマルウェア検知と、マルウェアからの保護を提供します。業界をリードするMetaDefenderのマルチスキャン、データ無害化、脆弱性スキャンは、ランサムウェアやゼロデイ攻撃をはじめとする既知、未知の脅威を防ぎます。REST APIによりデータ無害化や30を超えるマルウェア対策エンジンを利用し、サイバーセキュリティの脅威に対する検知および防止機能を容易に追加できます。日々拡大しているOPSWATの大規模な脆弱性データベースにより、インストーラーやバイナリファイル、IoT [モノのインターネット] のファームウェアの脆弱性を検出できます。既存のソリューションを強化するため、独立系ソフトウェアベンダー (ISV) 各社やマルウェア研究者はMetaDefender APIを活用しています。また、IT管理者は悪意のあるファイルがアップロードされるのを保護する機能をはじめ、システムの脅威防止機能を高めるためにも活用しています。



利点

マルチスキャン 30種類を超えるマルウェア対策エンジンのシグニチャーやヒューリスティック検出、機械学習機能により既知および未知の脅威を高度に早い段階で検出します。

データ無害化 (CDR) 30種類を超えるファイル形式に対応し、ユーザビリティを維持したままファイルの無害化と再構築を行い、安全なコンテンツを提供します。

脆弱性スキャン 10億以上のデータポイントにより、20,000以上のソフトウェアアプリケーションの既知の脆弱性を検出します。

「当社はゼロデイ攻撃のマルウェアファイルのアップロード対策として、各種サンドボックスやアンチウイルスベンダークラウドのマルチスキャンベンダーを評価しました。その結果、OPSWATのデータ無害化を選択しました。」

Upwork セキュリティ責任者
Teza Mukkavilli氏

MetaDefender APIの特徴

データ無害化 (CDR) 30種類を超えるファイル形式に対応し、ユーザビリティを維持したままファイルの無害化と再構築を行い、安全なコンテンツを提供します。

マルチスキャン 30種類を超える業界屈指のマルウェア対策エンジンから、パッケージオプションで柔軟に選択できます。サードパーティーのマルウェア対策のライセンスを同梱。

脆弱性スキャン バイナリファイルとインストーラーをIoTデバイスを含むエンドポイントで実行する前にスキャンし、アプリケーションの既知の脆弱性を検知します。

アーカイブ処理 圧縮ファイル内の高性能なマルウェア検知機能を強化し、各ファイルを抽出し個々にスキャンすることでアーカイブ爆弾の被害を防ぎます。

ファイル形式検証 4500種類を超えるファイル形式を検証し、スプーフィング攻撃を防ぎます。

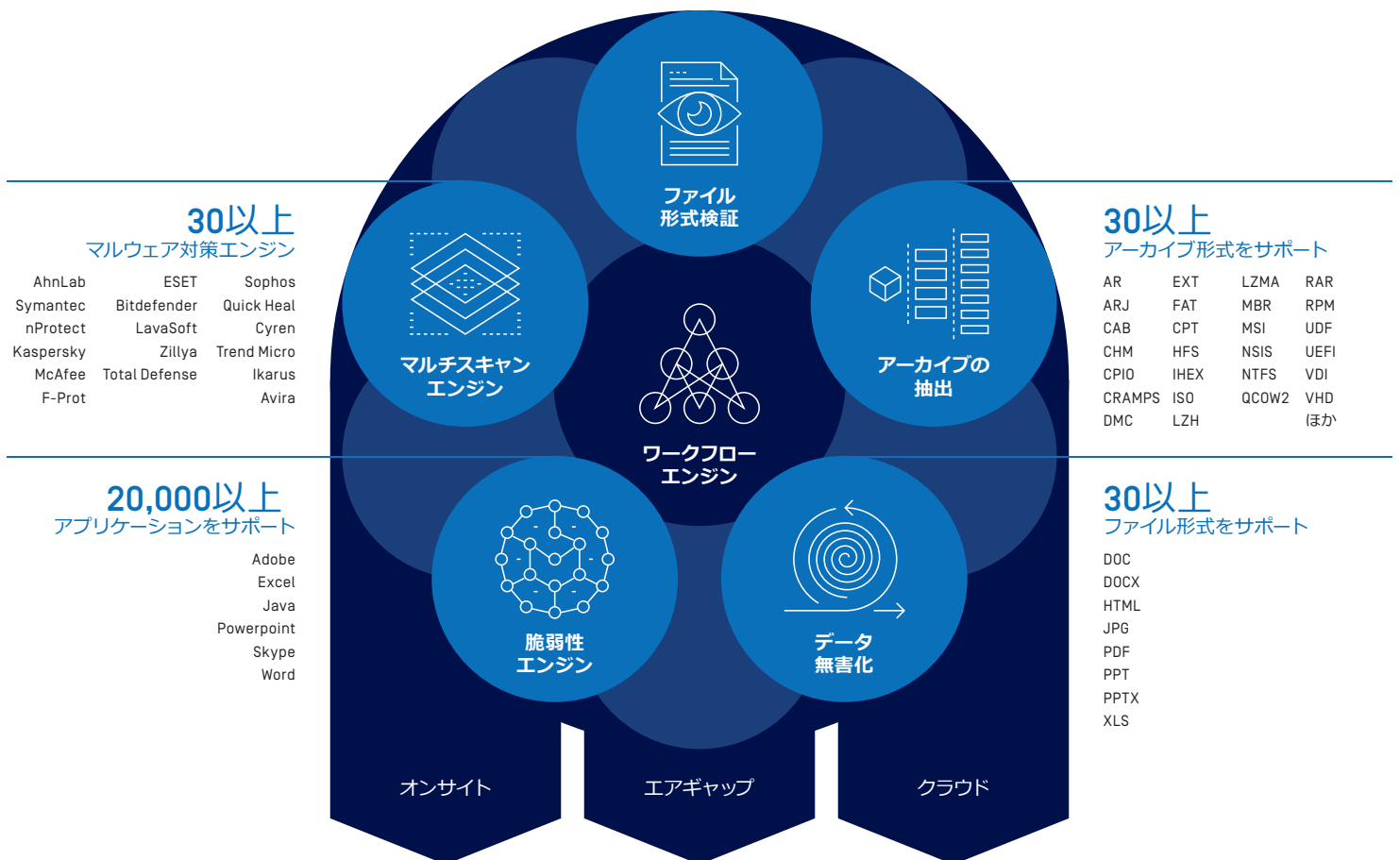
REST API 多くのプログラミング言語でMetaDefenderの機能を活用できます。

100種類以上のファイル変換オプション ファイルのユーザビリティと内容を維持した真の「再構築」を行います。また、ファイルは複雑ではない形式に変換します。

ワークフローエンジン マルチスキャンとデータ無害化 (CDR) について独自のワークフローを作成し、対象ファイルの順序やプロセスをカスタマイズできます。

導入プラットフォーム お客様のWindowsサーバーやLinuxサーバーで導入できます。また、OPSWATのクラウドmetadefender.comや、エアギャップ環境でも導入可能です。

MetaDefenderのアーキテクチャ



OPSWAT.

Trust no file. Trust no device.

www.opswat.com